土佐市立土佐南中学校					公印	NO. 3	
重点項目	評価項目	評価判断基準	達成指標	成果・課題	評価	改善策(A)	学校関係者評価記入欄
3 つなぐ学校・家庭・地域	児童生徒が学校生活に満足できているか	生徒アンケート「あなたは学校生活が楽しいですか」の、5段階評価の平均で判断 4以上 =A 3.5以上=B 3以上 =C 2.5以上=D 2.5未満=E	26年度、生徒アンケートでは5段階評価でAであった。 27年度も、5段階評価でAを目指す。 ・H26:3学年平均4.2→H27:3学年平均4.0	○高い数値ではあるが、昨年度よりも0.2P下がっている。全14項目中下がった項目は2つしかなく、その1項目になる。 ○人数は少ないが、否定群に属する生徒への個別支援が必要。	A	○各種調査や取組をとおして、生徒理解を基盤とする生徒指導体制を継続・発展させ、生徒個々に焦点を当てた支援を行う。 ・Q-Uアンケート ・Q-Uアンケート分析職員会 ・学校生活に関するアンケート ・学校評価アンケート ・チーム支援会議(指導主事の要請を含む) ・個人面談 ・特別支援教育に関する研修	生徒・教職員と保護者のギャップがある。アピール、情報提供、子どもの高得点を保護者へアピールして、ある程度同じ評価が出るようにするといふ。
		保護者アンケート「お子さんは、学校生活に満足していますか」の、5段階評価の平均で判断 4以上 =A 3.5以上=B 3以上 =C 2.5以上=D 2.5未満=E	26年度、保護者アンケートでは5段階評価でBであった。 27年度は、5段階評価でAを目指す。 ・H26:3.6→H27:3.4	○昨年度より0.3P下がっている。「教員はわかりやすい授業につとめているか」という項目の評価は昨年度より0.1P高く3.5となっており、学習面以外にも保護者の不満な部分があるのかもしれない。	C		
	保護者・地域住民の意見を学校運営に反映しているか。	保護者アンケート「学校は子どもたちや保護者・地域住民の意見を聞き、学校運営に反映していると思いますか」の、5段階評価の平均で判断 4以上 =A 3.5以上=B 3以上 =C 2.5以上=D 2.5未満=E	26年度は、保護者アンケートでは5段階評価でBであった。 27年度も、5段階評価でBを目指す。 ・H26:3.5→H27:3.4	○昨年度の3.5から0.1P下がった。 ○「誠意を持って対応しているか」についても0.2P下がっている。	C	○保護者からの意見や情報については職朝などで全教員に周知し、また教職員が得ている情報についても共有する体制を継続する。 ○生徒との個人面談の定期実施	
	保護者・地域住民が学校に訪問できるような工夫がなされているか。	教職員アンケート「学校の教職員は、保護者や地域住民の意見を、学校及び学級運営に反映させていると思いますか」の、5段階評価の平均で判断 4以上 =A 3.5以上=B 3以上 =C 2.5以上=D 2.5未満=E	26年度は、教職員アンケートでは5段階評価でBであった。 27年度は、5段階評価でAを目指す。 ・H26:3.5→H27:3.7	○昨年度よりも0.2P上昇し、教職員の意識は向上しているが、保護者とのギャップを認識しなければならない。	B	○学校経営計画や教育計画の中で、どのように「保護者等の意見」を反映させていくのか、それぞれの校務分掌の中で確認をする。	
	●年間をとおした継続的な地域人材との交流や活用 ●職場体験学習 3年での実施(職業選択:土佐市内での活動) ●命の学習(健康教育・朝食づくり) ●しおかぜ公園清掃ボランティア ●高齢者理解教育	学期末面談以外の学校行事で、保護者・地域住民が学校を参観できる取り組みを、何回行っているかで判断。 ・年5回以上=A ・年4回以上=B ・年3回以上=C ・年2回以上=D ・年1回以下=E	26年度、教職員アンケートでは5段階評価でAであった。 27年度も5段階評価でAを目指す。	○参観授業を避難訓練や給食試食会等と併せて実施するなど工夫しているが、平日の場合はなかなか保護者が集まらない。 ○民生児童委員さんには様々な行事や取組に参加・参観していただき、学校との大きな絆づくりに貢献していただいている。	A	○学年参観日や自由参観日、参観週間の調整・設定について継続する。 ○総合的な学習の時間や学習成果発表などの特色ある取組の際は保護者に案内する。	
地域・保護者との連携	学校の姿が、保護者・地域住民にわかるような工夫がなされているか。	学校だより、学級通信を月に1回以上発行できたか、またホームページを学期に1回以上更新出来たかで判断。 上記の全てが出来、それ以上の発信も出来ている =A 上記が全て出来ている =B 上記の2点が出来ている =C 上記の1点が出来ている =D 上記が全て出来ていない =E	26年度は、5段階評価でAであった。 27年度も、5段階評価でAを目指す。 ・H26:学校だより30号発行、HP更新は毎週実施→H27:学校だより38号発行(1月末現在)HP更新は毎週実施	○HPの更新については定期的に行っており様々な情報をアップできた。 ○進路通信、情報教育通信等の定期的な発信ができています。やや学年によって差はあるものの学年だよりも多く発信できた。 ○学校便りも昨年度よりも多く発信できた。	A	○参観週間の設定「各学期」の継続 ○総合的な学習の時間や学習成果発表などの特色ある取組の際は、保護者へ案内する。 ○HP担当者に頼るところが大きく、HPを組織的にアップできる体制は検討課題。	特になし
	学校評価の情報を 全保護者 に公開しているか。	学校評価について発信回数(学校便り、校長便り、HP等)で判断。 年5回以上 =A 年3回以上 =B 年2回以上 =C 年1回 =D 発信していない =E	26年度は、5段階評価でAであった。 27年度は、5段階評価でAを目指す。 ・H26:5回→H27:5回	○学校評価アンケートからも家庭への情報発信は3.7と昨年度同様高かった。 ○学校評価に係る情報発信は学校便りなどの通信やHPをとおして行っているが評価項目によっては回答が困難なケースがあり今後の課題である。(評価ができない項目への対応)	A	○学校評価アンケートについては、学校便り・HPで発信し、情報公開に努める。 ○前年度の課題解決策を反映させた学校経営計画の見直しと共有及び発信	
	●学校便り「土佐南だより」を保護者以外にも発信し学校の様子について広く知ってもらおう。(小学校、民生児童委員さん、地域施設などへの定期的な発信) ●しおかぜ公園清掃ボランティア・アルミ缶回収への協力の呼びかけ(防災無線やポスターの掲示、土佐市広報への掲載) ●土佐南中学校区小中連携事業組織の活用による情報発信の工夫(「小中連携だより」の発信)	●学校からの情報発信の充実・継続 ●学習成果物や行事ポスターの地域への掲示を継続 ●PTA及び小中連携組織の活用	○学校からの情報発信の充実・継続 ○学習成果物や行事ポスターの地域への掲示を継続 ○PTA及び小中連携組織の活用	A			
<p>学校関係者評価を踏まえての改善点:</p> <ul style="list-style-type: none"> ◇各種調査や取組をとおして生徒理解を基盤とする生徒指導体制を継続・発展させ、生徒個々に焦点をあてた支援を継続させる。 ◇魅力ある学校となるべく、地域に開かれた取組をさらに推進する。特に昨年度表彰を受けたしおかぜ公園清掃ボランティアや地域を巻き込んだ行事を充実させる。 ◇保護者からの意見や情報については職朝などで全教員に周知し、また教職員が得ている情報についても共有する体制を継続する。 ◇Q-Uアンケート、学校生活に関するアンケート、F M day、個人面談等とおした「生徒理解」のための体制を継続する。 ◇学校からの情報発信の充実・継続、学習成果物や行事ポスターの地域への掲示を継続、PTA及び小中連携組織の活用。 ◇生徒アンケートを1学期にも実施し、学校だより等で保護者に知らせる。 							